新本っ子

学校通信　No. ４１
令和４年１１月発行
新本小学校
令和４年１１月30日

【学校教育目標：豊かな人間性をもち，実践力のある子どもを育成する】

新 自分で考える子　本 本気で取り組む子　義 きまりを守る子　民 みんな仲良く元気な子

赤米仕上げのとうす・とうみの体験　【5年生】

２５日(金)に５年生は，本庄国司神社境内で赤米のとうす(籾すり)，とうみ（風力を使った籾の選別）を行いました。

６月に田植え，１１月初めに稲刈りを行った赤米。そして今回は昔ながらの道具を使って，収穫した稲の籾すり(とうす)，選別を行う最終段階の体験です。

５年生にとっては，もちろん初めての体験。今回も赤米保存会の方々にお世話になり，道具の使い方を教えていただきました。とうすは２～３人で木の持ち手を押したり引いたりして臼を動かします。最初よく止まっていた臼も，回数を重ね，コツをつかむと止まらず回るようになってきました。手動で風力を起こすとうみでは，吹き出し口から籾殻が勢いよく噴き出す様子に興味深く見入っていました。

工夫を凝らした精巧な昔の道具で行ったとうす，とうみの貴重な体験からは，先人の知恵のすばらしさ，脱穀にかける手間の大変さを感じることができました。

思いやりの花を咲かそう！【朝礼講話】

（前略）新型コロナウイルスが流行る前，今のようにみんながマスクをしていない頃のエピソードです。交通指導員さんが，風邪のためマスクをして，いつもの交差点に立っていました。それを見た１年生が，指導員さんに「風邪ですか。お大事に」と言ったそうです。すると他の子どもも「お大事に」と言いながら通っていきました。

思いやりのある一言に，交通指導員さんは心がとても温かくなったそうです。たった一言ですが「お大事に」と言うのは少し勇気がいります。もしかしたら，１年生の子は，自分が病気の時にまわりの人から言ってもらって嬉しかったのかもしれません。それまでのやさしくしてもらった，ほんの小さな出来事が，その子のやさしさの種になり，思いやりという花を咲かせたのでしょう。

みなさんもこれまでに優しく親切にされて嬉しかった経験は，たくさんありますね。心にたくさん，やさしさの種がまかれていることと思います。

今度はその種から，思いやりの花を咲かせましょう。そして，友だちにやさしさの種をまいてあげてください。今日から，新本小学校では，人権週間が始まります。新本小学校に，みんなで思いやりの花をたくさん咲かせましょう。